（様式３）６年目研修（高）　　　　　　自　己　評　価　票

所属校名（　　　　　　　　　）

１　研修対象教員

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏　　名 | HR担任 | 担当教科 | 主たる校務分掌 |
|  |  |  |  |

＊1 HR担任は学年を記入し、正担任・副担任・学年係等の別は(　)に記入。

＊2 担当教科は、主に担当しているものを記入。

２　自己評価　　【資質向上期】 実践を積み上げ、専門性を高め、学校の推進力となる。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　目 | | 評　価　の　観　点 | 自　己　評　価 | |
| 研修前 | 研修後 |
| 学  習  指  導 | 授業  構想 | ①生徒の実態やニーズに応じ、教科における見方・考え方を踏まえた指導と評価の計画を作成することができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 授業  実践 | ②生徒の実態やニーズに応じ、教科における見方・考え方を踏まえ、生徒が確かな学力を身に付ける授業を行うことができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 評価  改善 | ③生徒の実態やニーズに応じた授業評価の方法や観点を工夫し、継続的な授業改善ができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 小計１＝学習指導①＋②＋③の合計 | |  |  |
| 生  徒  指  導  等 | 生徒  理解 | ④生徒の実態や状況について、自らのもつ情報と周囲からの情報を合わせて分析し、多面的に把握することができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 生徒  指導 | ⑤個や集団の実態や状況に応じて、生徒の自己指導能力の育成を促すための継続的な働きかけを行うことができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| キャ  リア  教育 | ⑥生徒自身が自らの生き方を多様な可能性を基に考える指導を行うとともに、生徒の実態やニーズに応じた進路指導を行うことができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 小計２＝生徒指導等④＋⑤＋⑥の合計 | |  |  |
| 経  営  ・  分  掌 | HR・学校等経営 | ⑦校務の課題についての建設的な改善策を他の教員等に提案し、組織的に働きかけながら実践することができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 連携・  協働 | ⑧周囲の人材と専門性を活用し合うなど、生徒の成長のための効果的な指導をチームとして行うことができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 危機  管理 | ⑨事故等の発生時や未然防止について、場面に応じて迅速に行動することができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 小計３＝経営・分掌⑦＋⑧＋⑨の合計 | |  |  |
| 特別な配慮や支援を必要とする生徒への対応 | | ⑩多様性を尊重し、共に成長する集団づくりや、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| ＩＣＴや情報・教育データの利活用 | | ⑪ICTを効果的に活用した授業実践等を行い、校務の効  率化及び生徒の学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 総合計①～⑪ | | |  |  |

※次頁の「評価基準の目安」を参考に、該当する数字を「○」で囲んでください

□　評価基準の目安

４:達成している　　　　　　　…　適切に指導するための知識・技能が身に付いているとともに、１～３年目の教職経験者に

対して、助言をすることができる。

３:おおむね達成している　…　適切に指導するための知識・技能が身に付いている。

（現在まで実際の経験はないが、基礎的な知識はあり、その立場になった場合には、必要

となるような知識・技能を磨きつつ、対応することができる。）

２:やや努力を要する …　各指導や業務において知識・技能の不十分さを感じている。

（現在まで実際の経験はないが、その立場になった場合には、必要となるような知識・技能

を身に付けるための方法を知っており、学びつつ対応することができる。）

１:努力を要する　　　　　　 …　各指導や業務において分からないことが多く、必要な知識・技能が身に付いていない。

（現在まで実際の経験がなく、実際の指導が困難であり、困難を解消するための方法を

知らない。）

校長欄　※計画書と一緒に提出する際には記入せず、報告書と一緒に提出する際に記入する。

|  |  |
| --- | --- |
| ※提出する際、この欄に記載されている文は消去してください。  この欄には「研修の総括及び今後の自己研修に向けての展望及び期待」について記してください。  　作成の手順は「自身で作成⇒校長からの指導を仰ぐ⇒必要に応じて加除修正」としてください。 | |
| 令和　　年　　月　　日　　学校名  　　　　　　　　　　　　　　校長名 | （公印省略） |

（この票は、研修対象教員の自己評価と岐阜県教員育成指標に照らして、校長面談等に基づき作成する）

※提出について

・「６年目研修 計画書」と一緒に提出する際、

「２ 自己評価（研修前）」を記入し、提出する。その際、「校長欄」は記入しない。

・「６年目研修 報告書」と一緒に提出する際、

「２ 自己評価（研修後）」と「校長欄」に必要事項を追記し、提出する。